

# 世界遺産検定 認定者の声

2017

※学年はインタビュー当時のものです。

先輩たちが語る  
受検のきっかけ・  
勉強して得たもの・  
就職活動・これからのこと

## 好奇心を資格というカタチに したことで自信ができました

認定級 3 2



明治大学  
国際日本学部  
国際日本学科  
4年  
柳浦 美央さん  
(航空会社内定)

——受検のきっかけを教えてください。

大学2年の夏から半年間、アメリカのインディアナ州の大学に留学をし、大学3年への進級時に日本に帰国しました。留学を機に自分と向き合い、学ぶことへのモチベーションが高まっており、就職活動も視野に入れて新しいことがしたい、何か検定を受けたいと考えていたときに世界遺産検定を知りました。世界遺産の知識はゼミにも活きますし、就職先に旅行会社や航空会社を考えていたことも理由のひとつです

が、受検したいと思ったいちばんの理由は好奇心からでした。

——世界遺産の知識を今後どのように活用していきたいですか？  
卒業後は客室乗務員として航空会社に入社します。海外の方を含め、たくさんのお客様に接する機会が増えると思いますが、世界遺産の知識はいろいろなシーンで話のきっかけになると思います。世界遺産について学び、新しい知識を得られることが楽しく、何より一生懸命学んだことが、資格というカタチになったことは自信につながりました。

## 世界遺産は単なる遺物ではなく 現在と繋がっているところが魅力

認定級 3 2



法政大学  
国際文化学部  
4年  
柴 翔太郎さん  
(旅行会社内定)

——受検をした感想は。

勉強するまでは世界遺産の外見に惹かれていたのですが、一つひとつの遺産に歴史や文化、物語があることを知って、より深い興味を感じるようになりました。大学2年の時にはフランス留学をして欧州の世界遺産をできるだけ訪ねましたが、知識があるのとないのでは感動が全く違いました。——柴さんが感じる世界遺産の魅力を教えてください。  
人々が暮らしながら守り続けている歴史地区が象徴するように、世界遺産は単なる遺物ではなく、

現在にも繋がっている、そこが最大の魅力だと思います。

こうした視点を深められたのは、ゼミで世界遺産が現在の社会に与えた影響や、観光と功罪などを研究したからです。日本の世界遺産「富岡製糸場」が日本の近代化、現代社会に果たした役割などを学会で発表し、最優秀賞をいただいたのも忘れられない思い出です。  
就活でしっかりと「軸」を持って仕事選び・企業選びができたのも、世界遺産の学びがあったからだと思います。

## 英語の面接でおすすめの 世界遺産を聞かれました

認定級 2



神奈川大学  
外国語学部  
国際文化交流学科  
4年  
藤田 優希さん  
(エアライン内定)

——受検理由を教えてください。

観光のゼミと国際文化の授業で先生に紹介されて世界遺産検定を知りました。地元秋田県にも世界遺産の白神山地があることは知っていましたが、訪れたことや勉強をしたことがなかったため、まずは世界遺産のことを知ることに始めようと思いました。

——受検して良かったことは。  
今まで知らなかった世界の文化や歴史を知ることができました。国際文化の授業でも世界遺産の知識があることで理解が深まり、卒業論文で世界遺産について

研究しようと思うきっかけにもなりました。

——就職活動時に世界遺産検定をどのように活用しましたか。  
エントリーシートの資格欄に記入しました。内定をいただいた会社の英語での面接で「おすすめの世界遺産はどこですか？」という質問をされ、具体的に答えることができました。  
就職後は外国人旅行者の方に日本の世界遺産をおすすめしたり、世界遺産の話題をきっかけに様々な国の方と交流を深めていきたいです。

## 世界について知らなければ 日本のことはわかりません

認定級 2



慶應義塾大学  
商学部  
4年  
中田 結希さん  
(マスコミ業界内定)

——検定に挑戦した理由を教えてください。

世界遺産検定の存在は大学3年生の頃から知っていて興味はあったのですが、ゼミが忙しくて受検のタイミングを逃していました。就職活動が終わって時間に余裕ができ、検定のことを思い出しました。内定先がマスコミということで、興味や知識を広げたいという気持ちもありました。——世界遺産の知識はどのように役立っていますか。  
旅が楽しくなりました！今は月に2回くらい旅行しています。イスラ

ム建築とキリスト教の聖堂が混在しているスペインでは、建築様式の細かい部分に目が行き、一緒に行った友達にも思わず解説をしてしまいました(笑)。  
私には日本人に日本の良さを広めたいという夢があります。世界のことを知らなければ、日本の素晴らしさを伝えることはできません。もちろん世界遺産だけを学べばいいわけではありませんが、世界遺産を学ぶことで世界の歴史や地理にも触れることになります。世界遺産の学びを将来の夢につなげていきたいですね。

## 世界遺産検定が教えてくれた 日本のアイデンティティ

認定級 2



中央大学  
法学部 政治学科  
4年  
稲村 行真さん  
(起業予定)

——検定に挑戦した理由を教えてください。

受検のきっかけは先生のすすめですが、興味があったというのも大きいですね。アジアの自然遺産がすごく好きなんです。2級のテキストに行ってみたい世界遺産が多く紹介されていたので2級を受けました。

——世界遺産検定を受けてよかったことはありますか？

世界遺産の基礎知識や理念を学べたことです。特に興味深かったのは、1994年に採択された奈良文書です。これにより、木の建

物の保全に関する解釈が広がり、登録されやすくなったように思います。たとえば白川郷は翌1995年に、京都や奈良も奈良文書採択後に登録されています。木の文化が世界に認められたのだと思います。いま日本の都会は、街の個性が失われているように感じます。世界でも際立った独自性を持つ日本のアイデンティティが失われてしまっているのはすごくもったいない。そんな日本の文化を、世界遺産を学ぶことでより深く知ることができました。その学びが自分の活動の礎になっています。

## 世界遺産の知識を 旅行業界で活かしていきたい

認定級 3 2



フェリス学院大学  
文学部 英文学科  
4年  
伊藤 百合香さん  
(旅行業界内定)

——受検理由を教えてください。幼い頃から旅行をすることが多かったのですが、世界遺産に関する知識があれば、旅行がもっと楽しめるのではないかと感じたことが受検のきっかけです。旅行の仕事に就きたいと思っていたので、受検を通して得た知識は就職後も役に立つのではないかと考えました。勉強を始めたのは受検の2か月前です。テキストを繰り返し読み、練習問題は問題と答えを覚えるまで何度も解きました。出てきた世界遺産をインターネットで調べたりもしました。

——世界遺産の知識を今後、どのように活用していきたいですか。世界には本当にたくさん世界遺産があることを知り、また、大まかな情報しか知らなかった世界遺産について詳しくなれたことで、今まで以上に世界遺産に興味がわきました。旅行業界以外の面接でも、検定について聞かれ、話が弾みました。就職後は、お客様に世界遺産について聞かれることや、世界遺産をおすすめする機会も増えると思います。世界遺産の知識をいろいろな場面で活かしていきたいです。

## “マイスター”が観光業界の インターンシップで評価対象に

認定級 3 2 1

マイ  
スター



東海大学  
観光学部  
4年  
矢吹 璃奈さん  
(旅行会社内定)

——大学生でマイスターまで取得された方は珍しいです。

観光学を専攻していて、将来的に資格が役に立つかも知れないという思いもあり、在学中に1級までは取得したいと思っていました。日本の歴史や世界の歴史、世界各国の事情、様々な建築様式など色々な知識が広がって、勉強すればするほど「もっと深く勉強したい」という気持ちになり、どんどんはまっていった感じです(笑)。3回目の挑戦で1級に合格した時は、本当に嬉しかったです！マイスターに合格した時は、

友達や先生たちが喜んでくれて、検定に興味を持ってくれたこととても嬉しかったです。今振り返って思うのは、自分で限界を決めずに勉強を続ければ、マイスターは決して遠い存在ではないということです。

——知識は役に立ちましたか。就職に向けて、インターンシップを3回体験しました。観光業界では「マイスターを持っているんですね」と真っ先に話題になりましたし、他の業界でもどのように検定を克服していったかということが評価の対象になったと思います。

## 世界遺産を巡るたび実感 学びは人生の財産

認定級 3 2



大東文化大学  
国際関係学部  
国際関係学科  
4年  
原 賢哉さん  
(IT業界内定)

——受検理由を教えてください。大学3年時に、新カリキュラムとして「世界遺産検定」が追加されたことがきっかけです。専攻の内容に近く、本当に興味のあることが学べる一石二鳥の場だと感じ、受検に至りました。

——受検をして良かったことは。人との会話の幅が広がり、世界遺産を訪れたときにも簡単なガイドができるようになりました。世界遺産を巡るたびに学んだことを実感できます。人生の財産です。第一志望だった業界では、どの会社でも検定について聞かれま

した。旅行業界以外ではあまりなじみのない分、興味を持ってもらえたようです。グローバル化が進む中、積極的に海外のことを知っておくことは、どの業界でもプラスに考えてもらえると感じました。

——世界遺産の知識をどのように活用し深めていきたいですか。検定を通じ、有名でなくても面白い歴史的背景や悲惨な過去を持つ世界遺産がたくさんあることを知りました。今後はそういった世界遺産を実際に訪れ、自分の足、目を使ってさらなる勉強に励みたいと考えています。



先輩たちの勉強法は？  
声をピックアップ！

「テキストを読み、問題集を何度も解いた」「テレビや写真集で映像や写真を記憶に残した」「友達同士で問題を出し合った」  
基本のテキスト&問題集での勉強のほか、テレビやネット、書籍などで興味のある遺産のビジュアルを調べるのが楽しいとの声も！